

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 年 月 日

事業所名 障がい児通所支援事業所おくえつザウルス

保護者等数（児童数） 17 回収数 14 割合 82 %

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	0	0		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	2	0		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	3	0		
適切 な 支 援 の 提 供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	13	1	0		
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	13	1	0		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	7	2	・コロナ禍なので仕方ない	感染状況や、ニーズに合わせて、必要に応じ活動を企画していく。
保 護 者 へ の 説 明	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	3	0		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12	2	0	・共通理解のための面談などが何回かあればいいと思う	必要に応じ面談等行い共通理解や子どもの事を一緒に考える機会を設けていく。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	1	0	・共通理解のための面談などが何回かあればいいと思う	
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	8	2	・あまり必要性は感じていません ・コロナ禍なので仕方ない	開催の有無や内容等も保護者の皆様のご意見を聞きながら企画していく。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	3	0	・周知があるかわからない	苦情等あった場合子どもや保護者様への周知も含め、迅速かつ適切に対応できるように改めて体制の整備に取り組んでいく。

等	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	1	0	・lineの開設ありがとうございます。便利なので利用させていただきます。	引き続きスムーズに意思の疎通や情報伝達ができるように様々なツールの利用も含め検討していく。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	1	0	・カラー印刷で見やすく子供（孫）の様子がわかるとと家族も喜んでいきます。	引き続き月一回の会報や、様々な情報を積極的に発信していく。
	14	個人情報に十分注意しているか	14	0	0		
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	1	0		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	1	0	・わからない	年に2回避難訓練を行っている。今後いろんな災害を想定した訓練も行っていく。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	12	2	0		
	18	事業所の支援に満足しているか	13	1	0		

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。